

山陰インバウンド機構の設立にあたり、発起人の一人として、一言ご挨拶申し上げます。

山陰DMOを作りましょうと、平井知事さんと一緒に相談したのは、昨年秋、いわゆる「総合戦略」を作るときでありました。

今日、その設立総会を迎えることが出来たのは、本日、ご出席の皆様のご理解とご支援のお陰でありまして、心より感謝申し上げます。

山陰は、文化、歴史、自然、食など大変多くの資源に恵まれています。

開発や公共交通機関の整備が遅れたことで、かえって、日本の原風景が残り、また、人の温かさにあふれています。

こうしたことは、他の地域に比べましても、大きな強みであり、これをより多くの方々に知ってもらう必要があります。

最近では、政府の取り組みもあり、日本を訪れる外国人が増加傾向にあります。ご承知のとおり、島根は、外国人宿泊者数が全国で最も少ない地域であります。

国内でも、お出でいただいている方がたくさんおられますので、山陰への観光客につきましては、まだまだ伸びしろが多くあります。

そうした意味におきまして、山陰は、今後、観光客が大きく増加する可能性を持つ地域であるとも言えます。

これまでも、鳥取・島根両県による魅力の発信の取り組みにより、観光客は、増加してきております。

今後は、この民間と行政が一体となった新しい組織で取り組むことにより、一人でも多くの方々に山陰へお出でいただき、地域の人々との交流につながることを期待しております。

観光産業は、山陰にとって大変、大事な産業の一つであります。

この新組織の設立が、地域経済の発展に寄与するためにも、皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。